

第3章

計画の基本的な考え方

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

「山形市発展計画2030」の福祉政策分野においては、「地域福祉の充実」を施策（ビジョン）として掲げています。このビジョンを実現するには、少子高齢化や地域でのつながりの希薄化が進む中で、介護、障がい、子育て、生活困窮などの課題に加え、見守りや生活に支援が必要な単身高齢者、8050問題、ダブルケア、ヤングケアラー、頼れる身寄りがいない高齢者等への支援、ひきこもりや孤独・孤立の問題などの地域生活課題の解決に向けた取組が求められます。

そのためには、コロナ禍を経てさらに希薄化したつながりの「再生・再構築」が必要です。また、地域住民や支援関係機関、行政などが協力し、課題を抱える地域住民の意思を尊重しながら支える、包括的な支援体制を構築することが不可欠です。

高齢者、障がいのある方、子どもなどすべての人がつながり、地域や暮らし、生きがいを共に作り、寄り添い、支え合う「地域共生社会」を実現するため、次のとおり基本理念を定めます。

**みんながつながり寄り添い 笑顔でほっとするまち やまがた
～未来につなぐ地域共生社会の実現へ～**

この基本理念は、「山形市基本構想^{*}」及び「山形市発展計画2030」を上位計画に掲げ、山形市が目指す地域福祉のあり方の方向性を示すものです。

山形市ではこれまでも、地域福祉を推進するためのさまざまな施策を展開してきましたが、地域福祉を取り巻く環境は変化し続け、新たな課題が生じるとともに、福祉ニーズも複雑化・複合化しています。

このような状況から、今回策定する「第4次山形市地域福祉計画」では、「第3次山形市地域福祉計画」における取組の成果と課題を踏まえ、地域福祉をより効果的に推進するための4つの基本目標を設定しました。これに基づき、すべての人が地域福祉の担い手として互いに支え合い、助け合うことで一人ひとりが生きがいを持ち、安心して暮らせるまちづくりを推進していきます。

2 基本目標

基本目標1 みんなが地域や社会とつながるまちづくり

核家族化や高齢者の一人暮らしが増えている中で、コロナ禍を経てさらに地域のつながりが希薄化し、社会的に孤立する人が増加しています。このような状況は、特に支援を必要とする高齢者や障がいのある方、子育て世帯にとっては深刻な課題であり、悩みや困りごとを抱え込むことで、個人の健康を害し、幸福感を大きく下げ、やがては地域全体の活力を損なう要因にもなります。

そのため、誰もが地域の中で取り残されることがないように、地域住民同士が様々な属性や世代を超えてつながるまちをつくりまします。

基本目標2 みんなが何でも相談できるまちづくり

高齢者、障がいのある方、子どもなどすべての人が安心して生活するためには、一人で悩みを抱えずに、困りごとを身近なところで気軽に相談できる環境をつくることが重要です。また、地域住民自らが困りごとを地域生活課題として認識し、解決策を模索する体制の構築も不可欠です。

さらに、地域での解決が難しい複雑化・複合化した課題に対しては、支援関係機関同士が連携し、協働する包括的な支援体制を整えます。

こうした住民主体の活動と多機関の連携を通じて、「我が事・丸ごと」の理念に基づくまちをつくりまします。

基本目標3 みんながいきいきと暮らせるまちづくり

誰もが住み慣れた地域で自分らしく生活するためには、住民一人ひとりが役割を持ち、互いに認め合い、支え合う地域共生社会の考え方が根付いたまちをつくるのが大切です。このようなまちづくりを進めることで地域のつながりが深まり、誰もがいきいきと暮らせる環境が整います。

また、地域の特性を活かした活動やイベントを通じて、住民同士の交流を促進し、共感や理解を深めることも大切です。

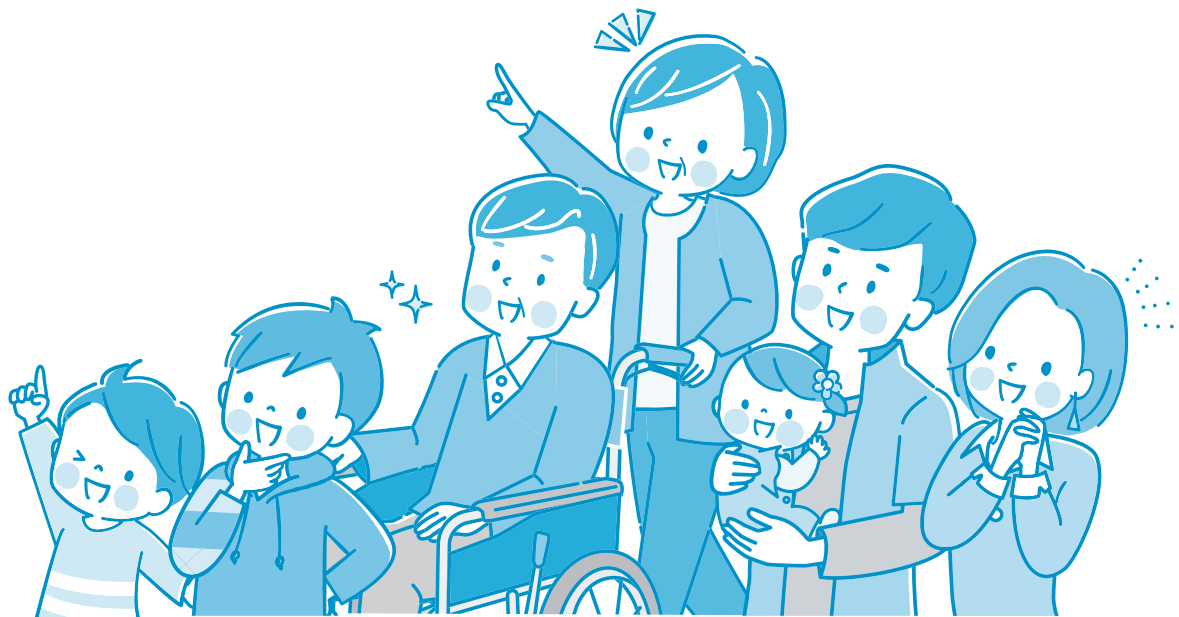
こうした取組により、個々の豊かな生活だけでなく、地域全体の活性化にもつながり、すべての人の笑顔があふれ、誰もが自分らしく生活できるまちをつくりまします。

基本目標4 みんなが安全・安心に暮らせるまちづくり

近年、地震や台風、豪雨などの自然災害が多発する状況にある中で、被害を最小限に抑えるためには、日頃の備えと地域内での支援体制の整備が不可欠です。災害時に迅速かつ適切に対応できるよう、町内会・自治会、自主防災組織、福祉施設等との連携を強化し、地域の防災意識向上に努めます。あわせて、個別避難計画の作成を通して、本人やその家族、地域住民の防災意識を高めるため、避難行動支援制度*の理解促進に力を入れます。

また、誰もが住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、多様な移動手段の確保・充実と住まいの安定を図り、住民同士が助け合い、支え合う地域コミュニティを構築します。

こうした取組により、すべての人が安全で安心に暮らすことのできるまちをつくります。



3 施策の体系

みんながつながり寄り添い
 笑顔でほっとするまち やまがた
 ～未来につなぐ地域共生社会の実現へ～

